

お客様紹介

株式会社企業サービス 様

(ISO27001:2013認証登録)

〔取材者〕 審査員 美濃 英雄
Hideo Mino

株式会社企業サービス様は、昭和54年創業、本社（大阪）、東京支社で、昨年ISO27001を認証取得されました。認証範囲は「信用調査、反社会的勢力のチェック、人材スカウト関連調査、労務コンサルタント」です。元々守秘義務は絶対的で、サーバー、クライアント、ネットワークの管理等は、社長様自らが担当されていました。ISMS目標「情報漏洩、紛失、改ざん等の事故ゼロ」等に取り組まれています。

業務内容はバックグラウンドチェック（採用調査）、企業信用調査、反社会的勢力調査、社内不正調査、労組関連調査など様々な調査です。バックグラウンドチェック（採用調査）では面接では絶対に判らない事実が判明するとのことで、面接や試験でOKとなった人のうち、調査で30%強に「支障あり」の判定が出ているそうです。「東大卒業の履歴書で中途採用したら、どうもお



本社ビル（大阪） 本社ビル正面 東京支社

かしくて、本当は高校卒業だとわかった」という事例もあったそうです。厚生労働省がいう「公正な採用選考」の実現にはバックグラウンドチェックは有効とのことでした。

また、反社会的勢力調査の調査は、有価証券上場規程の企業行動規範に対応しており、上場準備に入っている企業からのニーズは高いようです。



同社代表取締役社長
吉本 哲雄 氏

<https://www.ks110.com/>

連載
よみもの

審査員の心理

第24回（環境編）

「リスク及び機会（環境側面）」

環境主任審査員 大村 敏夫
Toshio Omura

「6.1 リスク及び機会への取組み」の中には「6.1.2 環境側面」や「6.1.3 順守義務」の要求事項がありますが、この項目は従来規格にもありました。これらの項目については2015年版になっても大きな変更は無いと捉えています、強調されている箇所もあります。

環境側面については、「ライフサイクルの視点を考慮し、」という文言が入りました。このライフサイクルとは、製品を擬人化して、製造（誕生 ゆりかご）、使用（成年）、廃棄（墓場）までの過程（ゆりかごから墓場まで）で生じる環境影響も考慮することで、やや難しい場合もあります。製造業などでは誕生までは直接の管理下にありますが、引き渡し後には直接関与できることは少ないかもしれません。これは主に「組織が影響を及ぼすことができる環境側面」に関係し、適正な使用や廃棄などに働きかけをすることができないか考慮することです。RHoS指令は電子・電気機器における特定有害物質の使用制限で、これは廃棄された場合に有害物質が環境に排出されることに配慮した規制です。省エネ製品を提

供すると、使用の際にその効果が現れます。耐久性の高い製品を提供すれば、それだけ省資源になります。このような環境配慮製品を提供すること、普及させること、適正な使用・廃棄のための情報を提供することなども、「影響を及ぼす」手段と考えられます。「影響を及ぼす」とは組織への影響で、英語では influence になります。環境影響の「影響」は impact で、日本語にするとどちらも「影響」になりますが、意味の違いに注意する必要があります。「影響を及ぼす」のは製品に関することだけでは無く、サプライチェーンなどにも働きかけができないか、考慮が必要です。特にアウトソースしているプロセスの管理について強調されています。アウトソースの管理について、「8.1 運用の計画及び管理」にて、「組織は、外部委託したプロセスが管理されている又は影響を及ぼされていることを確実にしなければならない。」と要求されています。アウトソース先も少なくとも影響を及ぼし得る環境側面として位置付けられています。アウトソース先に対して、要求事項などの伝達・依頼・提案、技術指導、監査など、どのように影響を及ぼし得るか明確にして、影響を行使すること要求されています。

これらの「影響を及ぼすことができる環境側面」を含めて、「著しい環境側面」と決定された環境側面については取組みの対象になります。また、「著しい環境側面」とならなくても、「リスク及び機会」が想定される環境側面も取組み対象となります。このような「影響を及ぼすことができる環境側面」が認識されるように、審査でお話しています。